

日本基礎心理学会会員各位

日本基礎心理学会第 41 回大会のご案内

2022 年 12 月 2 日（金）～12 月 4 日（日）千葉大学

（第 1 号通信）

ご挨拶

このたび、日本基礎心理学会第 41 回大会を、2022 年 12 月 2 日（金）から 12 月 4 日（日）までの 3 日間の会期で、千葉大学西千葉キャンパスにて開催させていただくことになりました。本学で日本基礎心理学会の学術大会をお引き受けするのは、これで 2 回目となります。前回はちょうど 20 年前、2002 年の第 21 回大会で、御領謙先生を大会委員長とし、今回と同様、西千葉キャンパスで開催いたしました。

今大会開催を本学でお引き受けしたのは、第 38 回大会の前でした。その後、コロナ禍の広がりにより社会の状況、そして、研究活動の状況は大きく変わってしまいました。日本基礎心理学会でも、第 39 回大会と第 40 回大会がオンラインでの開催となるなど、研究活動や研究交流が制限されてしまいました。

今回の大会では、研究交流の再開とさらなる充実を目指し、新型コロナウイルスへの感染防止に十分に配慮しながら、対面での大会開催とさせていただく予定です。ポスター発表形式での研究発表と 3 つのシンポジウムを中心とする特別プログラムは、すべて本学会場にて開催いたします。また、大会第 1 日目には、日本基礎心理学会特別委員会による講演会やオーラルセッションを、本学会場で開催する予定です。さらに新たな試みとして、特別ポスターセッションとして学部生による研究発表を企画しています。ただし、残念ながら、懇親会に関しましては、密集状態での飲食を避けるために、対面とせずにオンラインでの開催とさせていただきました。楽しみにしてらした先生方も多いかと思いますが、ご了承ください。

会場となる西千葉キャンパスは、JR 総武線西千葉駅前の利便性の良い場所にあり、多くの木々に囲まれた緑豊かなキャンパスです。3 年振りの対面での大会が充実したものとなるよう、大会準備委員会では、千葉大学に縁のある委員を中心に準備作業を進めております。大会を盛り上げていくために、多数の先生方にご参加、ご発表いただけますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2022 年 7 月吉日

日本基礎心理学会第 41 回大会準備委員会

委員長 木村 英司

1. 会期： 2022年12月2日（金）～12月4日（日）

2. 会場： 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館
（〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33）

【交通アクセス】

- ・JR 総武線 西千葉駅 北口より徒歩2分（キャンパス南門）。
- ・京成千葉線 みどり台駅より徒歩7分（キャンパス正門）。

<https://www.chiba-u.ac.jp/access/>

3. 行事予定： 概要を下記の通りお知らせいたします。さらなる詳細は、大会ホームページ (<https://jps2022.com>) をご覧ください。

(1) 研究発表（ポスター発表）

発表形式は、ポスター発表（パネル展示）といたします。

(2) 学部生対象の特別ポスターセッション

特別ポスターセッションとして、学部生による研究発表を企画しています。発表申し込み受付は、一般会員との連名のもの、もしくは一般会員から推薦を得たものとさせていただきます。研究発表を行う場合でも、学部生の事前参加費は無料です。

(3) シンポジウム

「ヒューマンエラーの基礎心理学」、「動物の認知研究の陥穽を越えて」、「自然界の規則性・冗長性と適応的情報処理」という3件のシンポジウムを予定しております。別紙資料をご覧ください。

(4) 特別委員会企画

大会1日目（12月2日（金））の午後に、「心の実験パッケージ」開発特別委員会による講演会と若手研究者特別委員会によるオーラルセッションを予定しております。

(5) 懇親会

コロナウィルス感染防止の観点から、対面での懇親会は開催を見送らせていただきます。その代替りとして、大会2日目の夕方に、オンラインでの懇親会（無料）を計画しています。

(6) その他

理事会、編集委員会、総会が会期中に開催されます。また、第14回錯視・錯聴コンテスト授賞式も会期中に開催される予定です。

4. 大会参加費

費用区分	会員種別	事前	当日
大会参加費	会員（一般）	5,000 円	7,000 円
	会員（院生）	1,000 円	2,000 円
	非会員（一般）	8,000 円	10,000 円
	非会員（院生）	2,000 円	3,000 円
	学部生	無料	1,000 円

※名誉会員・終身会員の方は参加費無料です。

5. 大会参加・発表申し込み：

(1) 申し込み方法

①参加申し込み

大会ホームページ (<https://jps2022.com>) からオンラインシステムにより、2022年9月20日（火）までに、会員番号・パスワードでログインの上、お申し込みください。受付後に送信される登録受付完了メールにて、振込先・振込金額をお知らせします。参加申し込み後、1週間以内に参加費をお納めください。参加費の受領をもって、参加申し込みの受付完了とさせていただきます。当日は、大会参加費のお振込の控えをご持参ください。また、非会員の大学院生、学部生の方は、受付の際に学生証を確認させていただきますので、学生証もご持参ください。

大会参加の申し込みは大会当日も受け付けますが、大会運営の都合上、できるだけオンラインシステムをご利用ください。今大会より、非会員の方も、オンラインシステムでの参加申し込みが可能となりました。

②発表申し込み（主発表者の方のみ）

参加申し込み手続きに加えて、2022年9月20日（火）までに、第41回大会オンラインシステムにて発表申し込みを行ってください。申し込み時には、概要（400字以内）の入力をお願いいたします。なお、ご提出いただいた概要は、『基礎心理学研究』（2023年3月末日発行予定）に掲載される予定です。その際に概要の変更を希望される方には、大会会期終了翌日までシステムでの修正を受け付けます。ただし、発表タイトルおよび発表者情報の変更は受け付けません。

学部生の方で、特別セッションでの発表を希望される方も、参加申し込み手続きに加えて、2022年9月20日（火）までに、オンラインシステムにて発表申し込みを行ってください。申し込み手続きは一般の場合と同様ですが、一般会員と連名で行う研究発表、もしくは一般会員から推薦を得た研究発表のみが受付対象となりますので、ご注意ください。

(2) 発表者の資格

①主発表者

発表申し込みの時点で正会員であり、年会費の滞納がないことが条件になります。主発表者になることができるのは、1発表のみに限られます。なお、発表当日において年会費が未納である場合には、発表取り消しになりますので、ご注意ください。

若手研究者特別委員会によるオーラルセッションで発表を行った方も、主発表者として研究発表を行うことができます。

学会に未入会の方は、2022年9月5日(月)までに、日本基礎心理学会ホームページより入会の申し込みを行って下さい。入会が承認され次第、日本基礎心理学会事務センターより、発表申し込みに必要な情報をご連絡させていただきます。

学部生対象の特別ポスターセッションに関しては、非会員の方でも主発表者になることができます。主発表者として発表できるのは、1発表のみに限られます。

②連名発表者

非会員の方でも連名発表者になることができます。非会員の方が大会に参加される場合には、できるだけオンラインシステムをご利用ください。

(3) 発表形式

発表形式は、ポスター発表とします(若手研究者特別委員会によるオーラルセッションを除きます)。大会の2日目あるいは3日目の指定された時間にポスターを掲示し、発表をお願いいたします。学部生対象の特別ポスターセッションに関しても同様です。準備委員会で各発表に在席時間を定めていますので、発表日についてご要望がある方は、発表申し込みの際に、大会準備委員会 (jps2022@googlegroups.com) までお知らせくだされば、可能な限りご要望に沿うようにいたします。

(4) 優秀発表賞

2022年度末において35歳未満である研究発表(ポスター発表)の主発表者が対象となります(学部生対象の特別ポスターセッションの主発表者は除きます)。対象の方は、発表申し込み時に申告してください。なお規定により、申告が無かった場合には審査対象とはなりません。選考結果は『基礎心理学研究』の会報欄で広報され、同誌に優秀発表賞の概要等が掲載されます。加えて、2023年度の総会において授与式が行われます。

優秀発表賞の審査資料用要旨提出のお願い

優秀発表賞の審査対象となる方は、プログラム掲載用の要旨(発表申し込みの概要:400字以内)とは別に、審査資料用要旨(A4用紙1枚以内)を、オンラインシステムにて、2022年10月11日(火)までにご提出ください。この審査資料用要旨の提出は、発表および審査の必須要件ではありませんが、円滑な審査のためにご協力をお願いいたします。

6. 今後の予定

2022年11月上旬に、会員の方全員に大会プログラムをお送りする予定です。また、最新情報は大会ホームページ (<https://jps2022.com>) にてお知らせいたします。

7. 問い合わせ先

(1) 第41回大会に関するお問い合わせ

日本基礎心理学会第41回大会準備委員会
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学文学部 心理学講座内

電子メール jps2022@googlegroups.com

ホームページ <https://jps2022.com>

(2) 参加・発表申し込み，原稿投稿および参加費等納入に関するお問い合わせ

日本基礎心理学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

電子メール kisoshin-desk@conf.bunken.co.jp

(3) 参加・発表資格，オンラインシステム ID・パスワード，入会・年会費に関する
お問い合わせ

日本基礎心理学会事務センター

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

電子メール kisoshin-post@bunken.co.jp

日本基礎心理学会第41回大会シンポジウムのご案内

シンポジウム1：ヒューマンエラーの基礎心理学

企画・司会：一川 誠（千葉大学）、村越 琢磨（駿河台大学）

話題提供者

都築 誉史（立教大学）

村井 千寿子（駿河台大学）

本田 秀仁（追手門大学）

指定討論者

一川 誠（千葉大学）

企画趣旨

進化の過程で経験したことのない人工的環境や新奇の課題の遂行では、私たちの知覚や認知のシステムはしばしば非適応的な振る舞いをします。人間がすべきことをせず、またはすべきでないことをすることによって意図しない錯誤が生じると、それは「ヒューマンエラー」として問題視されます。そうした「ヒューマンエラー」は、個人がどんなに気をつけていても、回避することは簡単ではありません。しかも、「ヒューマンエラー」に基づく問題は、うっかりミスや勘ちがいによって引き起こされる日常のささいな失敗だけでなく、大型のプラントや交通機関における大規模な事故の原因となったり、自然災害発生時の避難行動の失敗による被害拡大を引き起こしたりしてきたことが指摘されています。今回の企画では、こうした様々な問題を引き起こす我々の認知的特性について基礎心理学研究が明らかにしてきたことを概観し、その基本的特性の理解が、深刻な問題の回避や予防にどのように寄与しうるのか議論したいと考えています。

シンポジウム2：動物の認知研究の陥穽を越えて

企画 牛谷 智一（千葉大学）、後藤 和宏（相模女子大学）

司会 牛谷 智一（千葉大学）

話題提供者

大北 碧（甲南女子大学）：ヒト-イヌ・ヒト-ウマインタラクションにおけるイヌ・ウマ「認知」研究の面白さと難しさ

後藤 和宏（相模女子大学）：情報希求パラダイムを用いたメタ認知研究

松野 響（法政大学）：カテゴリーラベルの使用について：フサオマキザルとヒトの比較研究

牛谷 智一（千葉大学）：ハトのエビングハウス錯視研究は終わらない（終われない）

企画趣旨

オペラント条件づけで形成された反応や、生得的に持つ自然な反応を使うことで、ヒト以外の動物の内的過程を調べることができる・・・そういう楽観的な見通しが、動物の認知研究の草創期にはあったかも知れない。しかし、始まって半世紀近く経っても、動物の認知研究にはとほころどろ「落とし穴」があって、一筋縄ではいかないようだ。本シンポジウムでは、様々な動物の認知研究で遭遇した「落とし穴」を取りあげつつ、それを乗り越えんとす

る悪戦苦闘を紹介する。動物の認知研究の「落とし穴」は、ヒトの認知研究にとっても、「人ごと」ではないかもしれない。

シンポジウム3：自然界の規則性・冗長性と適応的情報処理

企画・司会 木村 英司（千葉大学）

話題提供者

上田 祥行（京都大学）

村井 祐基（情報通信研究機構脳情報通信研究センター）

佐藤 弘美（千葉大学）

木村 英司（千葉大学）

企画趣旨

私たちを取りまく自然環境は、先行する出来事によってその後の出来事が予測できたり、ある対象の特徴を周囲のものから予測できたりと、規則性や冗長性に富んでいます。そのような環境にあっては、時空間的に対象の特徴を要約したり、それまでの履歴に基づいて現在の処理を調整したりすることで、効率的に、そして、環境に対して適応的に情報を処理することが可能になります。本シンポジウムでは、低次の視覚特徴から、文字やシンボル、さらには、集団の表情などの社会的特性にまで及ぶ要約的・適応的な情報処理に関する最近の知見をご紹介いただき、人の情報処理の基本特性に関して理解を深め、討議する機会としたいと思います。